

●評価のイメージ（案）

事業名：一般国道158号 奈川渡改良

事業主体：関東地方整備局

資料7

分野	地域の政策目標	個別道路事業の政策目標への寄与（事業効果）		
		定性的な効果	定量的な効果	評価
地域 経済	■活力ある地域・経済社会の形成			
	○交流促進・連携強化	・岐阜県高山市と長野県松本市など、北陸地方・中部地方と関東・甲信越地方を結ぶ唯一の路線であり、交流促進・連携強化が見込まれる。	・岐阜ー長野間の人の移動量の増加 人の移動 約15.1万人/年 → 約15.8万人/年 +約0.7万人/年増加	△
	○観光促進による地域産業の活性化	・上高地や乗鞍高原、白骨温泉などの観光地へのアクセス性が向上し、観光客の増加が見込まれる。	・観光入り込み客数の増加 上高地への観光客 約94万人/年 → 約101万人/年 +約7万人/年増加	○
・上高地や乗鞍高原、白骨温泉などの観光地における、滞在時間が増加し、観光消費額の増加が見込まれる。		・観光消費額の増加 上高地の観光消費額 約81.2億円 → 約83.9億円 +2.7億円/年増加	○	
災害	■落石等の災害に対する地域の防災力向上			
	○緊急輸送道路の確保	・防災危険箇所の回避により、災害による危険性が減少し、通行止め発生時における迂回距離が大幅に減少する。	・防災要対策箇所数 11箇所 → 0箇所	◎
・通行止めによる迂回解消に伴う効果 松本市～高山市： 約204分（迂回ルート）→約121分（当該路線） 約83分短縮			◎	
暮らし 環境	■生活環境の向上による安心して暮らせる地域社会の形成			
	○快適かつ安全に移動できる生活空間の形成	・線形不良箇所の解消や幅員および建築限界不足の解消により交通事故も減少し、快適かつ安全な生活空間を確保できる。	・線形不良箇所数 5箇所 → 0箇所	◎
			・建築限界不足箇所数 5箇所 → 0箇所 うち、大型車のすれ違いが困難なトンネル 4箇所 → 0箇所	◎
○救急医療施設への速達性向上	・第二次救急医療施設（波田総合病院）へのアクセスが向上し、緊急車両による搬送等における安全性・速達性の向上が見込まれる。また、線形不良箇所の解消に伴い、搬送患者や付添人および救急隊員への負担が減少する。	・第二次救急医療施設（波田総合病院）へのアクセス向上が見込まれる人口 約2,200人（旧奈川村、旧安曇村の約7割） ・旧安曇村（大野川地区）～波田総合病院間 約39分→約38分 約1分短縮 ※搬送時間短縮に伴う効果 ・死亡率（多量出血の場合） 約90%→約89% 約1%改善  救急医療アクセス向上効果 約2.9億円【参考値】	○	

コスト	110億円
-----	-------

評価基準（参考）

◎:大幅に改善される	△:やや改善される
○:改善される	×:悪化する